

学習指導案って、何のために誰のために書くの？

<二つの目的>

- ①よい体育授業を意図的、計画的に行うため。
(子どもたちと自分のため)
- ②授業研究のために参観者等に授業の意図を伝えるため。
(読み手のため)
→授業研究を広めるためでもある。

学習指導案 ≡ 手紙

学習指導案は、授業者からの手紙のようなものです。
あなたの気持ちや意図が、読み手にわかるように書く
ことが大切です。

学習指導案だけを読んで、授業のイメージをつかませ
ることができたらいいですね。

手紙を書くつもりで丁寧に書きましょう。

しっかりと学習指導案が書けたとき、自信をもって授
業に臨めます。

体育、保健体育の授業づくりをする上で重要なこと

授業づくりのキーワード

「この子らを こんな手立てで こんな子に」



→ 「学習指導要領解説に書かれている
◆◆を本単元で学習し、
具体的には本時で☆☆をします。」

彩の国
埼玉県

保健教育指導参考資料

なるほど！保健の授業づくり
ー令和4年度発行ー



埼玉県マスコット
「さいたまっち」「コバトン」

令和5年3月

埼玉県学校保健会 埼玉県教育委員会

IV 授業づくりのポイント

■課題学習

課題学習とは、児童生徒が自ら課題を発見し（あるいは自分のものとし）、解決の方法を考え、解決していくというスタイルの学習である。

課題学習の過程とそれに関連した指導上の留意事項と支援のポイントは下図のようになる。

注意事項	課題学習の流れ	支援のポイント
児童生徒が課題を考えるときに教師が準備した資料の影響は大きい。この資料が課題学習の方向性を決定する。	事前準備	どんな課題学習にするのか ①何時間で、どんな範囲で ・教科書との関わり ・課題発見用資料の準備 ②児童生徒の実態把握（レディネス調査） ③活動の規模（グループ or 個人） ④まとめ方（発表会、冊子）
教師が個々（グループ・個人）の課題の重複を調整すると偏りの無い発表会になるが、児童生徒自身が課題を設定したことにはならない。	課題発見	どんな課題を設定するのか ①児童生徒自身が意欲を維持できる課題を ②レディネス調査の結果を参考にして ③一つの課題を多角的にとらえさせる ④独自性や独創性をもたせる
毎時間、活動の様子や進捗状況をしっかり把握し、必要な支援や助言をする。児童生徒だけに任せっぱなしにしてはいけない。	課題設定	どんな追求するのか ①活動場所はどこか 校内：教室、図書館、視聴覚室 保健室、コンピュータ室 校外：警察、保健所、市役所、病院、商店など ②追求方法をどうするか 学習者用端末、電話、手紙、FAX、インタビュー等 ③追求活動をどうまとめるか ・何が分かって、何が分からなかったのか ・新しい発見、新たな疑問 ・自分の考えや主張
発表がゴールではなく、活動全体の学びが、児童生徒の生涯を通じた心身の健康の保持増進につながるようなまとめ方をしなければならない。	課題追求	どんな発表とまとめをするのか ①発表方法はどうか ・プレゼンテーション、記録映像、クイズ、公開実験、実演など ②発表後のまとめはどうか ・疑問に対する追調査 ・知識面での補充 ・学び方の学び、活動の振り返り
	発表とまとめ	○学習指導要領の「基準性」及び「履修漏れ」、「適切な評価」等に十分留意する。

「新しい保健学習のモデル」（平成12年2月 財団法人「日本学校保健会」を基に作成

学習指導案の各項目で書くべきこと①

2 単元についてって？

「この運動の魅力や楽しさは、～です。」

「子供たちは、～な部分を楽しみ、～な部分を嫌がります。」

3 児童生徒の実態って？

「この運動に関わって、子供たちは、〇〇はできるけど、△△を苦手としています。」

4 教師の指導観って？

「だから、私は運動の特性と児童の実態を踏まえ、□□に力を入れて指導していこうと思います。」

5 単元の目標って？

「そして、この単元が終わったら、子供たちをこういう姿にしたいと思います。」

学習指導案の各項目で書くべきこと②

6 評価規準って？

「子供たちの姿がこのようなになっていれば、単元の目標をおおむね達成できていると評価します。」

7 単元の指導と評価の計画って？ **※特に重要！**

「そこで、私はこういう順番で指導し、こういう方法でできているか評価していきます。」

8 本時の学習と指導って？

「その中で、今日は◇時間目をやるので、そこについて詳しく書きます。」

学習指導要領・同解説の文末表現に留意する。

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 「理解できるようにする」 | → <u>必ず扱うべき主たる学習内容（知識）</u> |
| 「できるようにする」 | → <u>必ず扱うべき主たる学習内容（技能）</u> |
| 「（例示十）適宜～」 | → 複数の例示やその内容から <u>選択して扱う内容</u> |
| 「扱う程度とする」 | → <u>伝える程度</u> |
| 「触れる」 | → 主たる学習内容を学習した上で <u>扱う内容</u> |
| 「取り上げる」 | → <u>必ず扱う内容</u> |

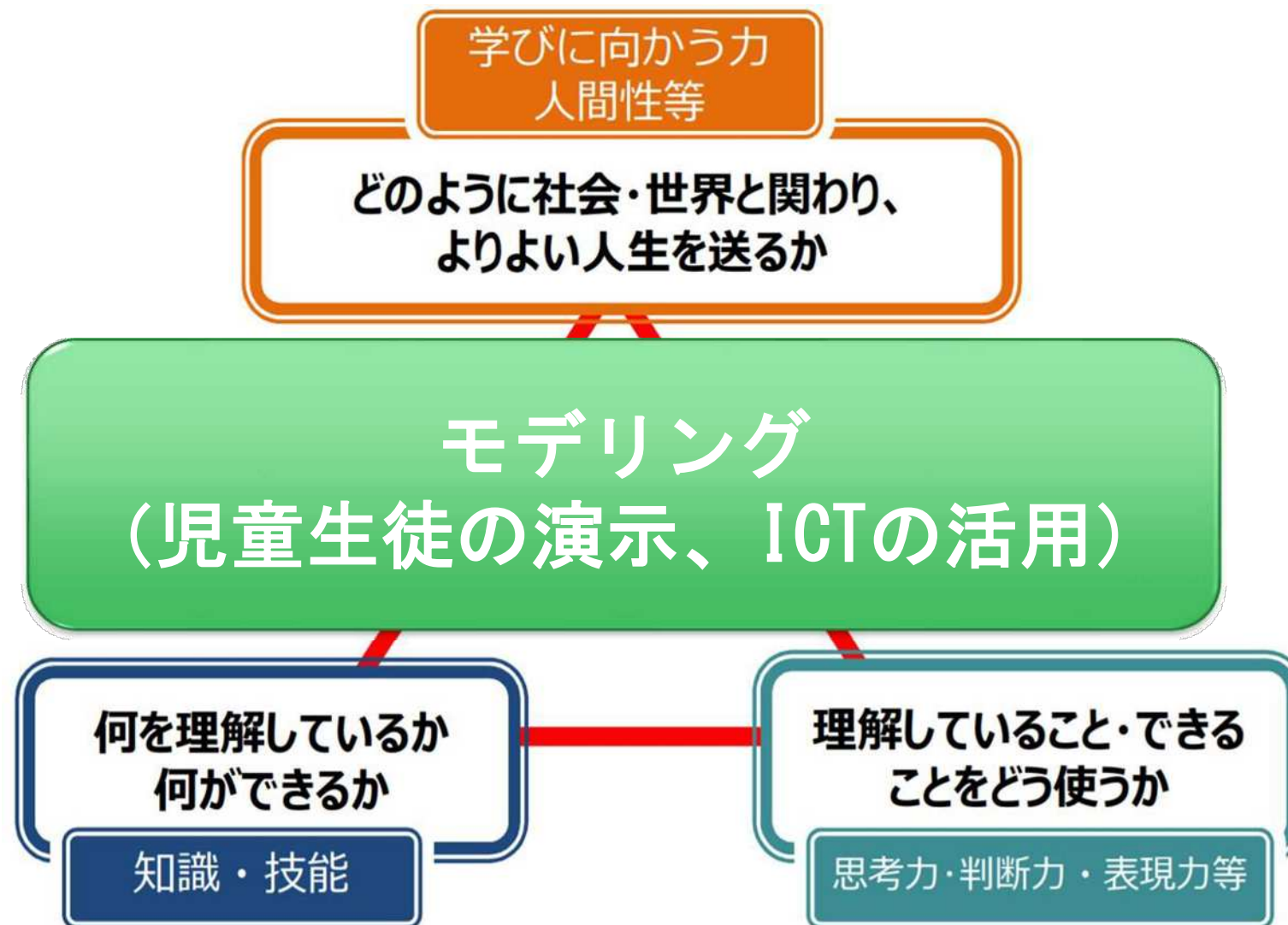
(1) 生殖に関わる機能の成熟

思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

指導上の留意事項

児童生徒の実態から目指す姿（目標）を設定し、共有する



一人ひとりをモデリングで取り上げる年間計画

4月(9)								5月(9)									6月(12)												7月(6)						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
体ほぐしの運動遊び②				鉄棒を使った運動遊び④				ボール投げの当てゲーム⑤				鬼遊び⑥				マットを使った運動遊び⑦							水遊び⑩												
固定施設を使った運動遊び②																																			

9月(12)												10月(12)												11月(9)									12月(9)								
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
表現 リズム 遊び⑤					用具を操作する運動遊び ③								ドッジボール ⑧								ボール蹴り パスゲーム ⑦					跳び箱を使った 運動遊び ⑦					体ほぐしの運 動遊び ③ 体を移動する 運動遊び③										
					折り返しリレー ⑥																																				

1月(9)									2月(12)										3月(6)							
79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105
折り返し 障害物 リレー⑥						キックベース ボール ⑦						高跳び 遊び ⑥						力試しの運動遊 び④								
																		鉄棒を使った運 動遊び④								

氏名	4月体づくり			5月ゲーム			6月マット		
	知技	思	態	知技	思	態	知技	思	態
A							○		
B		○							
C					○				
D				○					
E			○						
F						○			
G								○	
H							○		
I	○								
J									○
K					○				

子ども一人ひとりが
輝く授業づくり

02

【展開②】

実践編

動画視聴

実際に、授業動画を見てみましょう

子どもの未来を考える人のための

学校保健

研修会案内

教材コンテンツ

研修会案内

日本学校保健会刊行物（デジタルアーカイブ）

学校等欠席者・感染症情報システム

特集

コラム

イベント

[ホーム](#) > 児童生徒の健康管理・健康づくり推進動画

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた保健教育の授業

児童生徒の健康管理・健康づくり推進動画

令和3年度動画

令和4年度動画

令和5年度動画

令和6年度動画

NEW

令和7年度動画

*内容別で検索する方はこちらから

保健（小・中・高）

特別活動（小・中）



集団指導

中学校第1学年

【内容】

保健体育科（保健分野）

「心身の機能の発達（生殖に関わる機能の成熟）」

【授業者】

埼玉大学教育学部附属中学校
阿部 健作

収録日 令和七年十一月六日

集団指導の指導案、ワークシートも掲載

中学校 保健体育科（保健分野）
単元名 「心身の機能の発達（生殖に関わる機能の成熟）」（第1学年）

1 単元目標

(1) 身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟などの心身の機能の発達について、理解することができるようにする。

(2) 心身の機能の発達に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

(3) 心身の機能の発達に関心をもち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身体発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、呼吸器系、循環器系などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①身体機能の発達における事柄や情報などについて、保健に関する原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。	①心身の機能の発達に関心をもち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。
②思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	②性情報への対処のしかたについて、習得した知識を関連づけ、情報が正しいかどうか判断し、行動を選択するとともに、それらを他者に伝えている。	
③男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
④身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		

3 指導と評価の計画（5時間扱い） ※5時間が終了後に個別指導を計画している

時間	主な学習内容・学習活動	知	思	態	評価方法
1	○思春期は、さまざまな器官が急速に発育・発達する時期であり、その時期の始まりや発育・発達への個人差があることを理解する。	①			観察 ワークシート
2	○身体機能の発達について、保健に関する原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見する。		①		観察 ワークシート
3	○思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達することを理解する。		②		観察 ワークシート
4	○受精の仕組みについて理解する。 ○生殖にかかわる動きの成熟によって、新しい命を生み出せる体に成長することを理解する。		③		観察 ワークシート
5	○性への意識は、それが現れる時期や感じ方に性差や個人差があることを理解し、個人の考えを尊重する。 ○身の回りにおける性情報への対処のしかたを知り、情報が正しいかを判断し、行動選択する。	④	②	①	観察 ワークシート

※ 主体的に学習に取り組む態度の評価については、内容のまとまりを通して総括することとした。

4 本時の指導案（4/5時間）

(1) 本時の目標

○受精や妊娠の仕組みについて理解することができるようにする。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導・支援 (●評価規準と方法)								
導入	1 前時の学習内容を振り返るとともに、全国調査の結果から本時の目標を確認する。 ○学習指導要領実施状況調査（小学校6年生への調査）より 「男子には初経、女子には精通が起こる」と回答した人が多数いた。 初経について 全体 47.6% (男子 32.1%, 女子 63.0%) 精通について 全体 65.1% (男子 60.3%, 69.7%) ○実際に簡単な問題に挑戦してみる。 →授業後に、受精や妊娠について正しく説明できることを目指す。 【学習課題】受精や妊娠について深く理解しよう。	全体	○思春期の身体の変化を学ぶ意義を感じやすくする。 ○全国の調査を確認し、思春期の現状を知ること、本時の学習に興味をもちやすくする。 クイズに挑戦 ①精子がつくられるのは(精巣) ②卵子がつくられるのは(卵巣) ③胎児はどこにいる(子宮) ④妊娠したとはどの時のことか(受精卵が子宮内に着床したとき) ○知識が定着していない状況を確認し、正しい知識の理解が必要であることを確認する。								
展開	2 受精や妊娠について理解する。 ・受精とは「腹内に射精された精子が卵子と出会う卵子の中に入ること」であり、妊娠とは「受精卵が子宮内膜に着いて深く根を下ろし、発育を始めること」であることを確認する。 ・NHK ONE for school の映像をみる。「ヒトの受精」 ・拡大資料で受精・妊娠について確認する。	全体	○新しい命を生み出せるというキーワードに興味をもちやすくする。 ○映像資料や拡大資料を用いて射精から受精・妊娠について理解できるようにする。 ○イラストが描いてある学習プリントに学んだことや疑問に思うことを記入できるようにする。 ※妊娠の経過について個別指導で扱うことを知らせる。 ○前時に扱った月経や射精に関して、受精との関係から多面的に理解していけるようにする。 ○それぞれの素朴な疑問について周囲の仲間と意見交換しながら、考えをまとめられるようにする。 ○考えがまとまりづらい発問に関しては時間をとって、資料を用いて調べてから考えを聞くようにする。 ○教科書、パソコン、配付資料、対話を用いて疑問に対してそれぞれの考えを深められるようにする。 ○受精や妊娠との関係から月経や射精について捉え直すことができるようにする。								
閉	3 受精や妊娠について理解を深める。 ・4人班で、これまで学んできた「月経」「射精」「受精」「妊娠」について疑問に思うことを話し合い、共有する。 <table><thead><tr><th>月経</th><th>射精</th><th>受精</th><th>妊娠</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ・付箋に疑問を書きながら、整理できるようにする。班で共有後、黒板に張り付けて共有する。 ・疑問を全体で共有し、その疑問について解説しながら理解を深められるようにする。	月経	射精	受精	妊娠					班	
月経	射精	受精	妊娠								

交流例

①受精と妊娠の知識を得てからもう一度、月経周期のイラストに戻って、改めて月経と排卵の仕組みを捉え直す。

②受精と妊娠の知識を得てからもう一度、約3億もの精子が射精される意味を捉え直す。

個人班

4 これまでの学習を生かして妊娠についてまとめる。

・「精子、卵子、受精、妊娠」というキーワードを用いて、妊娠の過程を文章化してまとめる。

・この分野をまだ学んでいない人に対して、伝えたいことが伝わるまとめを作成する。

まとめ

5 本時の学習の振り返りをする

・ワークシートの記載を共有しながら、受精や妊娠の仕組みを説明できるか確認する。

全体

○本時の学びを振り返り、今後に生かしていくことを交流できるようにする。

○身体で起こっているそれぞれの変化を正しく理解し、その意味について考えられるよう助言する。

5 板書計画

単元:生殖に関わる機能の成熟

受精と妊娠について深く理解しよう

受精 腹内に射精された精子が卵子と出会い、卵子の中に入ること

妊娠 受精卵が子宮内膜に着いて、深く根を下ろし発育を始めること

卵 精子

毎月の月経 3億もの精子 新しい命を生み出す

月経

射精

受精

妊娠

個別指導

中学校第1学年

【内容】

個別指導（妊娠・出産について考える）
保健体育科（保健分野）
「心身の機能の発達（生殖に関わる機能の成熟）」との関連を図った指導

【授業者】

埼玉大学教育学部附属中学校
阿部 健作
内田 貴美子【養護教諭】

収録日 令和七年十一月十三日

個別指導の指導案も掲載

個別指導（妊娠・出産について考える）
中学校 保健体育科（保健分野）第1学年
「心身の機能の発達（生殖に関わる機能の成熟）」と関連を図った指導

- (1) 個別指導のねらい
- ・妊娠・出産について、多様な視点から考えることができるようにする。
 - ・10代のより若い世代の妊娠・出産においては、特にリスクがあることに気付くことができるようにする。
- (2) 関連する集団指導
- 【中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編】
- 保健体育科保健分野 (2) 心身の機能の発達と心の健康
- ア 知識及び技能
- (イ) 生殖に関わる機能の成熟
- 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器官の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。
- なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。
- イ 思考力、判断力、表現力等
- 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 対象生徒
- ・保健分野での「生殖に関わる機能の成熟」における月経の仕組み等の学習に関連し、妊娠、出産、性的接触等について発展的な内容に関心を示す任意の小集団(「妊娠・出産」をテーマとした個別指導を実施することを、保健授業後のアンケートでアナウンスし、それに参加を希望した生徒(男子2名、女子2名の計4名))。
- (4) 指導者
- 保健体育科教諭、養護教諭
- (5) 指導時間(時間帯)、実施場所
- 30分程度(放課後)、集会室
- (6) 準備物
- 資料、付箋、ノート
- (7) 個別指導の流れ
- ① 事前準備
- ・個別指導のねらい、日時や場所等を設定し、実施要項(案)を作成する。
 - ・実施内容等について管理職の了承を得るとともに、教職員の共通理解を図り、関係者の協力の下に準備を整える。
 - ・保護者に対して、本個別指導の趣旨等を事前通知し、共通理解を図る。
 - ・生徒への案内を行う。
- ② 個別指導の進め方
- 指導者は課題に取り組む生徒の様子を観察し、必要に応じて助言したり、生徒からの質問に回答したりする。

③ 指導の展開	
学習内容と学習活動	教師の指導・支援
1 本個別指導のねらいを確認する。	○生殖機能が発達することで妊娠が可能になることを振り返ることができるようにする。
【学習課題】妊娠について多様な視点から捉えて考えよう。	
2 妊娠や出産につながる男女の性的接触として「性交」があることを知る。	○「思春期になると男女それぞれの生殖機能が発達することで、妊娠が可能となること」を学んだことを確認する。 ○妊娠につながる男女の性的接触として「性交」があることを理解できるよう示す。 ○性交には生物の生殖(子どもを作る)という面では a:生物の生殖(子供をつくる)という面で、男性の精子が女性の膈内に放出され、届けられる行為 b:お互いに尊重し大切に思う人と人との心と体のふれあいの面があることを説明する。
3 妊娠や出産について思うことをさまざまな視点から考え、できるだけ多く挙げる。	○ブレインライティングにより付箋1枚に1つの考えを書き出すようにする。 ○その際に5分程度の時間で意欲的に多くの考えを出せるようにする。 ・自由な発想で考える。 ・短い言葉で表現する。 ・ここでは考えの是非を問わず、思いつくままに出す(質より量)。 ・自分の考えの理由等については言わない。
4 考えを整理分類する。 (分類のパターン) ①素晴らしいことや嬉しいこと/ 心配や不安 ②個人的なこと/社会的なこと ③身体面/心理面/生活面/経済面/ 社会面への影響	○妊娠や出産について、身体的な側面だけでなく、心理面、生活面、経済面、社会面など様々な考えられるようにする。 ○妊娠・出産による生命誕生は、本来素晴らしいこと・嬉しいことである。しかし、成長の過程にある10代のより若い世代において深刻な心配や不安が多く、特にリスクがあることに気づくように言葉かけをする。 ○10代の妊娠・出産における心配や不安として、例えば流産や低出生体重児の出産のリスク、周囲の人の理解、パートナーとの協力・分担、心身検診や出産費用などの経済的負担、学業との両立などの課題があることについて補足説明する。
5 本個別指導を振り返る。	○個別に相談できる体制を構築し、臨機応変に対応できるようにする。
(8) 指導上の配慮事項	
・生徒から男女交際や妊娠に関する悩みや相談がある場合には、プライバシーに十分配慮して健康相談や保健指導につなげ、必要に応じて保護者及び保健医療機関との連携を図る。	
・ブレインライティングでは、一定の時間内にできる限り多くの数の考えを出すことを目指すように支援・援助する。例えば思い浮かんだ考えについて、良い悪いで判断しないこと、考えの質を問わないこと、また連想したり、結合したりして、新たな発想で様々な考えを促す。	

テーマ：妊娠・出産について考える

(主な指導者)

養護教諭、保健体育科教諭、学級担任、外部講師など

(対象)

個人（グループも含む）

保健分野での「生殖に関わる機能の成熟」における月経の仕組み等の学習に関連し、妊娠、出産、性的接触等について関心を示す個人もしくは任意の小集団など

(具体的な個別指導の場面)

- ☞ 妊娠・出産につながる男女の性的接触として「性交」があること
- ☞ 成長の過程にある 10 代のより若い世代においては深刻な心配や不安が多く、特にリスクがあること
- ☞ 流産や低出生体重児の出産のリスク、周囲の人の理解、パートナーとの協力・分担、妊婦検診や出産費用などの経済的負担、学業との両立などの課題があること

個別指導の実施に当たって

個別指導の実施には十分な配慮が求められる。第2章において、具体的な健康課題に対応した個別指導例を示したが、これらの内容は全ての学校で実施すべき内容ではないことに留意する必要がある。そのため、実施に当たっては、自校の児童生徒や保護者、教職員の実情やニーズ等に応じて、個別指導を実施するかどうか、また、指導内容や指導方法について学校が十分検討した上で、計画的に実施することが求められる。

その際、性に関する内容については、個別指導においても、中学校学習指導要領解説 保健体育編等に留意事項として示されている「指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ること」に配慮することが大切である。

個別指導の実施に当たっては、具体的な悩みや相談など児童生徒の状況に応じて、適宜、健康相談や保健指導につなげることも想定される。また、保健に関する指導の全てを学校教育で担うものではなく、家庭や地域社会(保健医療機関や思春期の相談窓口等)での指導の機会との連携も重要であることを念頭において進める必要がある。

《保護者への通知（例）》

第〇学年保護者の皆様	〇〇年〇月〇日
	〇〇立〇〇中学校 校長 〇〇 〇〇
保健（性）に関する個別指導の実施について	
〇〇の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。 さて、本校生徒の実態や社会的背景等を踏まえ、下記のとおり、保健体育科（保健分野）「〇〇」の発展的な内容について個別指導を実施いたします。 つきましては、本個別指導の趣旨等について御理解いただくとともに、参加の希望がある場合は、下記の通りお申し込みいただきますようお願いいたします。	
記	
1 ね ら い	〇〇〇〇〇〇
2 日 時	〇〇年〇月〇日（〇） 昼休み（〇時〇分から〇時〇分まで）
3 会 場	〇〇〇〇
4 指 導 者	〇〇〇〇
5 対 象 生 徒	希望・申込等による任意の生徒
6 申 込 方 法	〇〇〇〇の方法により、〇〇年〇月〇日までに申し込みください。
7 そ の 他	・指導内容（概要）については、別紙をご確認ください。 ・希望・申込等の状況により、任意の小集団による指導になる場合があります。 ・分からないことや心配なことなどがありましたら、下記担当までご相談ください。
[担当] 〇〇〇〇中学校 〇〇〇〇 (電話) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	

一人一人が抱える課題に個別に対応した指導の例

(対象)

個人（グループも含む）

(具体的な個別指導の場面)

○保健の授業後

- ☞ 学習内容に疑問や不安をもった子供への指導
- ☞ 授業中の態度や学習カードの記載状況から心配される子供への指導

○宿泊を伴う行事の前

- ☞ 不安や悩みがある子供への指導

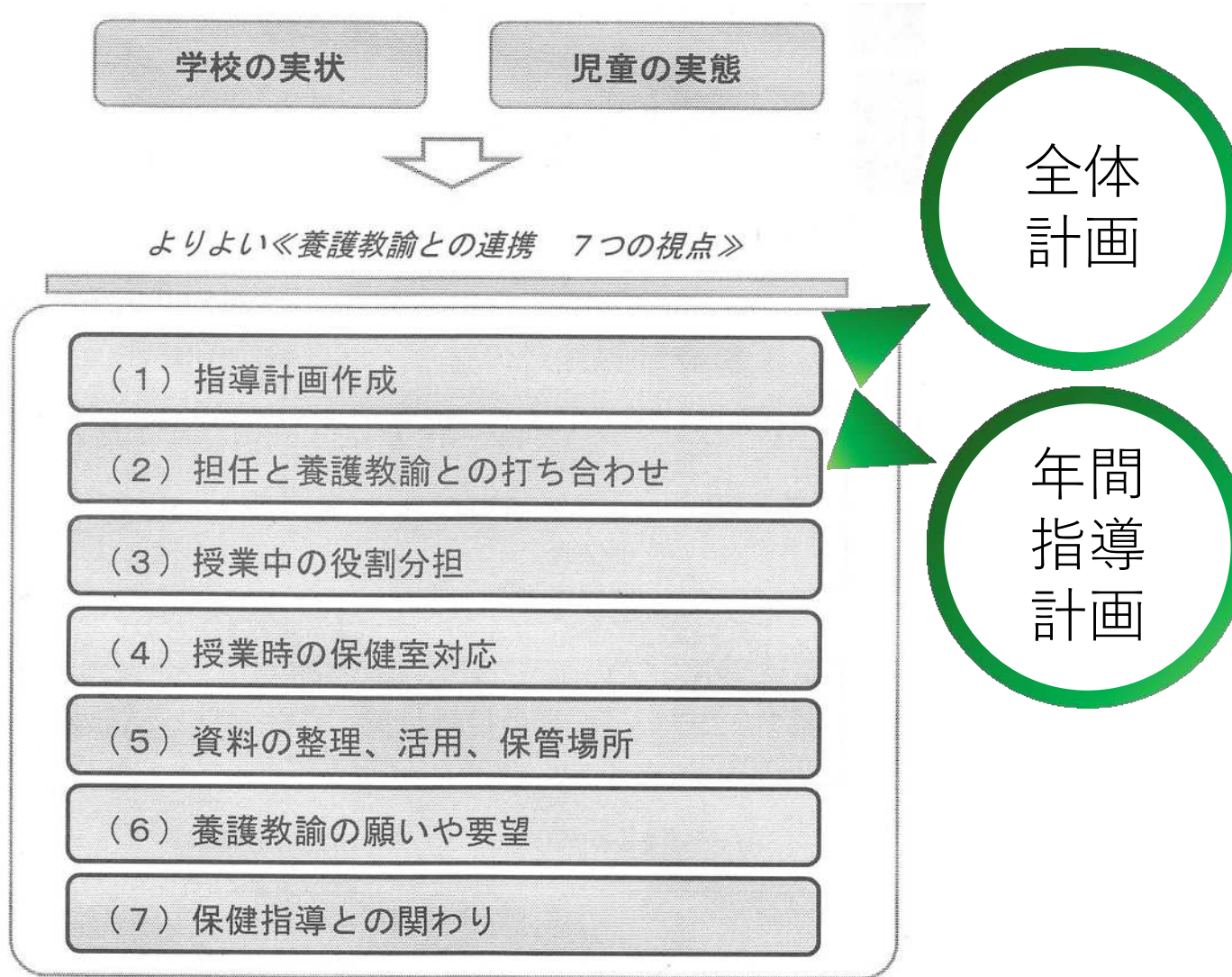
○性に関する問題行動の顕在化

- ☞ 非行が心配される子供への指導・支援 など

○個別指導だからこそ、集団指導以上の留意事項が必要

- ☞ 特に1対1の場合
（対応人数を考慮）
- ☞ 集団指導の際の留意事項は当然
 - ① 発達の段階を踏まえること
 - ② 学校全体で共通理解を図ること
 - ③ 保護者の理解を得ること
- ☞ プライバシーへの配慮
- ☞ 実施場所への配慮
（保健室、相談室など）

連携を実現させる 7つの視点



④ 授業時の保健室対応

ポイント

管理職・教職員への連絡

保健室を不在にすることは、児童・教員にとっても不安なことである。お互いに安心して授業を行なうために、保健室を不在にする際は管理職だけでなく、教職員への連絡が必要である。

協力・お願い 不在にする際、管理職・教職員に周知徹底する

養護教諭と T・T を行う際は、管理職・教職員へ周知徹底することが必要である。保健室を不在にする日時の確認と、緊急時の対応の仕方について確認しておく。

留意点

- (1) 授業を行う日時を明確にする。
- (2) 管理職・教職員へ不在にすることを報告する。
- (3) 不在にする際、保健室入り口に表示をする。
- (4) けがや病気の場合は、養護教諭がきちんと対応し、担任が授業を続ける。

その他、性に関する指導に関する授業動画

小学校 第4学年

【内容】

体の発育・発達

(イ) 思春期の体の変化

【授業者】

京都市立養正小学校

芝山 亜矢子

収録日 令和三年一〇月二〇日

中学校第3学年

【内容】

健康な生活と

疾病の予防

(オ) 感染症の予防

【授業者】

北九州市立南小倉中学

毛利 翔子

収録日 令和四年一月二九日

中学校第2学年

【内容】

特別活動 学級活動(2)

ウ 思春期の不安や悩みの解決、

性的な発達への対応

題材「性情報への対応」

【授業者】

川崎市立橘中学校

網谷 英大

収録日 令和五年一二月四日

高等学校第1・2学年

【内容】

生涯を通じる健康

(ア) 生涯の各段階における健康

【授業者】

大分県立大分雄城台高等学校

釘宮 多加也

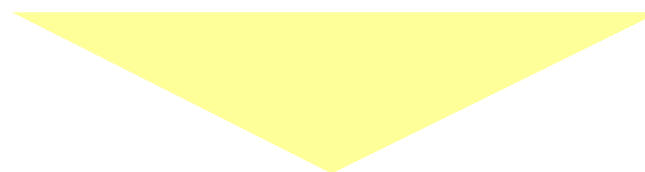
収録日 令和四年一月一五日

04

【まとめ】 教科横断的な視点からみる 性に関する指導の進め方

各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

○教科等の目標や内容を見渡し、特に学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のためには、教科等横断的な学習を充実する必要



○そのため、学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを確立

※中央教育審議会答申（H28.12.21）で「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」として「健康・安全・食に関する力」が示されており、その中で性に関する内容について言及されている。

カリキュラム・マネジメントの3つの側面

①教師が連携し、複数の教科等の関連を図りながら授業をつくる

②学校教育の効果を常に検証して改善する

③地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

心身の健康の保持増進に関する教育（現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容）

中学校

本資料は、中学校学習指導要領における「心身の健康の保持増進に関する教育」について育成を目指す資質・能力に関連する各教科等の内容のうち各学校における、それぞれの教育目標や生徒の実態を踏まえた上で、本資料をカリキュラム・マネジメントの参考としてご活用ください。

ち、主要なものを抜粋し、適宜性を重視して掲載したものです。

第2の2 (2) 各学校においては、生徒や学校、地域の実態及び生徒の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成した教育課程の編成を図るものとする。				することにに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生か
総則	保健体育科	社会科	特別の教科 道徳	
第1 2 (3) 学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実を図ること。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。	(保健分野) 2 (1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 イ 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。 イ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 (3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。 イ 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 (4) 健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 健康と環境について理解を深めること。 イ 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 ※ (3) 内容の(1)のアの(イ)及び(ウ)については、食育の観点も踏まえつつ健康な生活習慣の形成に結び付くように配慮するとともに、必要に応じて、コンピュータなどの情報機器の使用と健康との関わりについて取り扱うことにも配慮するものとする。また、がんについても取り扱うものとする。(7) 内容の(2)のアの(イ)については、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠を取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。また、身体の機能の成熟とともに、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、情報への適切な対処や行動の選択が必要となることについて取り扱うものとする。(8) 内容の(2)のアの(1)については、体育分野の内容の「A体づくり運動」の(1)のアの指導との関連を図って指導するものとする。(9) 内容の(3)のアの(1)については、包帯法、止血法など傷害時の応急手当も取り扱い、実習を行うものとする。また、効果的な指導を行うため、水泳など体育分野の内容との関連を図るものとする。(10) 内容の(4)については、地域の実態に即して公害と健康との関係を取り扱うことにも配慮するものとする。また、生態系については、取り扱わないものとする。	(公民的分野) B 私たちと経済 (2) 国民の生活と政府の役割 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。	A 主として自分自身に関すること 【態度、節制】 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。こと。 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 【生命の尊さ】 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	
第5 1 イ 教育課程の編成及び実施に当たっては、学校保健計画、学校安全計画、食に関する指導の全体計画、いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針など、各分野における学校の全体計画等と関連付けながら、効果的な指導が行われるように留意するものとする。		理科	特別活動	
		(第2分野) (3) 生物の体のつくりと働き 生物の体のつくりと働きについての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物と細胞 ② 生物と細胞 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 (イ) 動物の体のつくりと働き ② 生命を維持する働き 消化や呼吸についての観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果などに関連付けて理解すること。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解すること。 ④ 刺激と反応 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感じ察器官、神経系及び運動器官のつくりと関連付けて理解すること。 イ 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。	(学級活動) (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。 ウ 思春期の不安や悩みへの解決、性的な発達への対応 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。こと。 エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。 オ 食育の観点も踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。	
		技術・家庭科		(生徒会活動) (1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。
		(家庭分野) B 衣食住の生活 次の(1)から(7)までの項目について、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 生活の中で食事が果たす役割について理解すること。 (イ) 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康により食習慣について理解すること。 イ 健康により食習慣について考え、工夫すること。 (4) 衣服の選択と手入れ ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 (イ) 衣服の計画的な活用に必要な性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。 イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。 (6) 住居の機能と安全な住まい方 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。 ※内容の「B衣食住の生活」については、次のとおり取り扱うものとする。 カ (4)のアの(ア)については、日本の伝統的な衣服である和服について触れること。また、和服の基本的な着装を扱うこともできること。さらに、既製服の表示と選択に当たっての留意事項を扱うこと。(イ)については、日常着の手入れは主として洗濯と補修を扱うこと。	(学校行事) (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。	

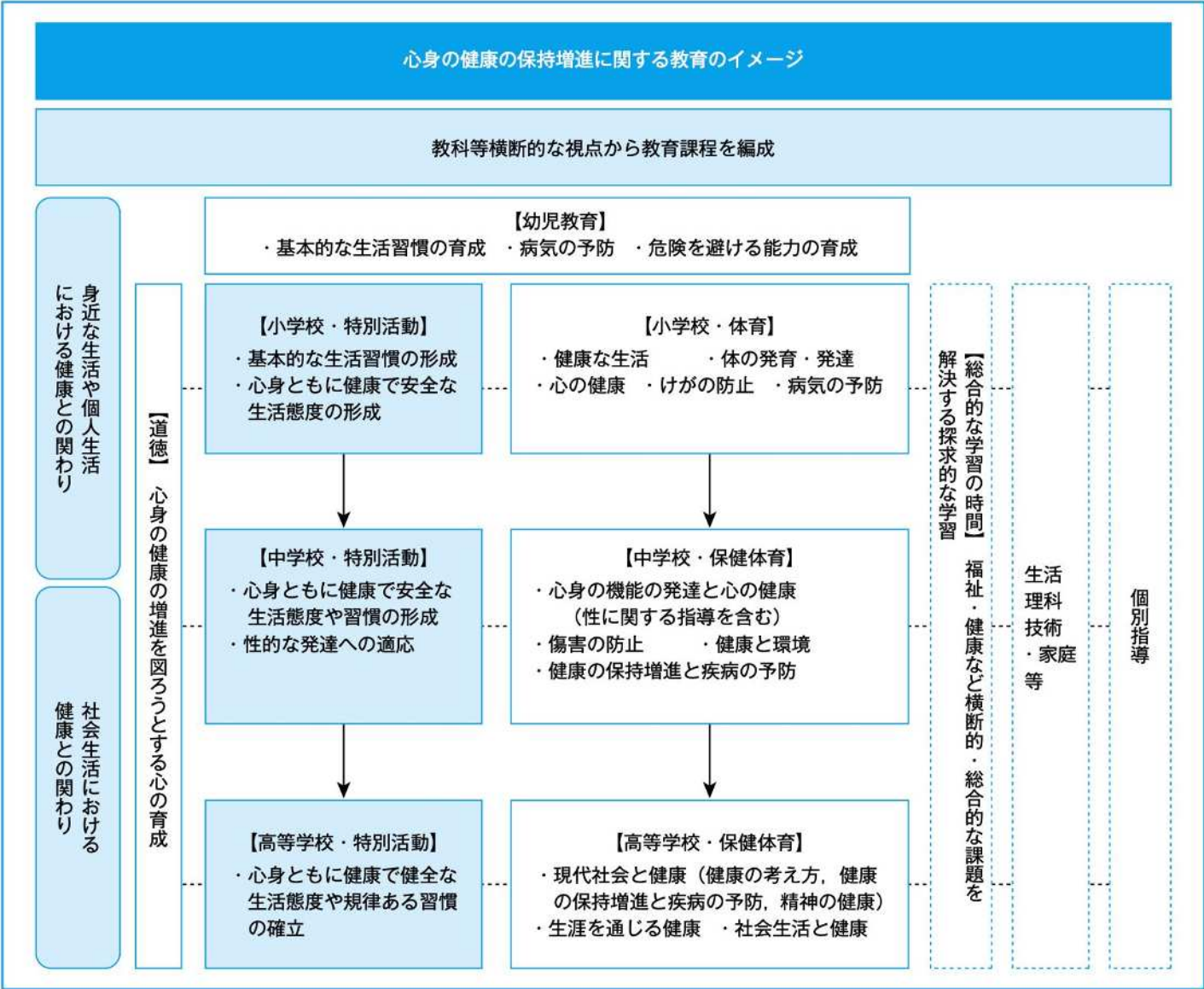
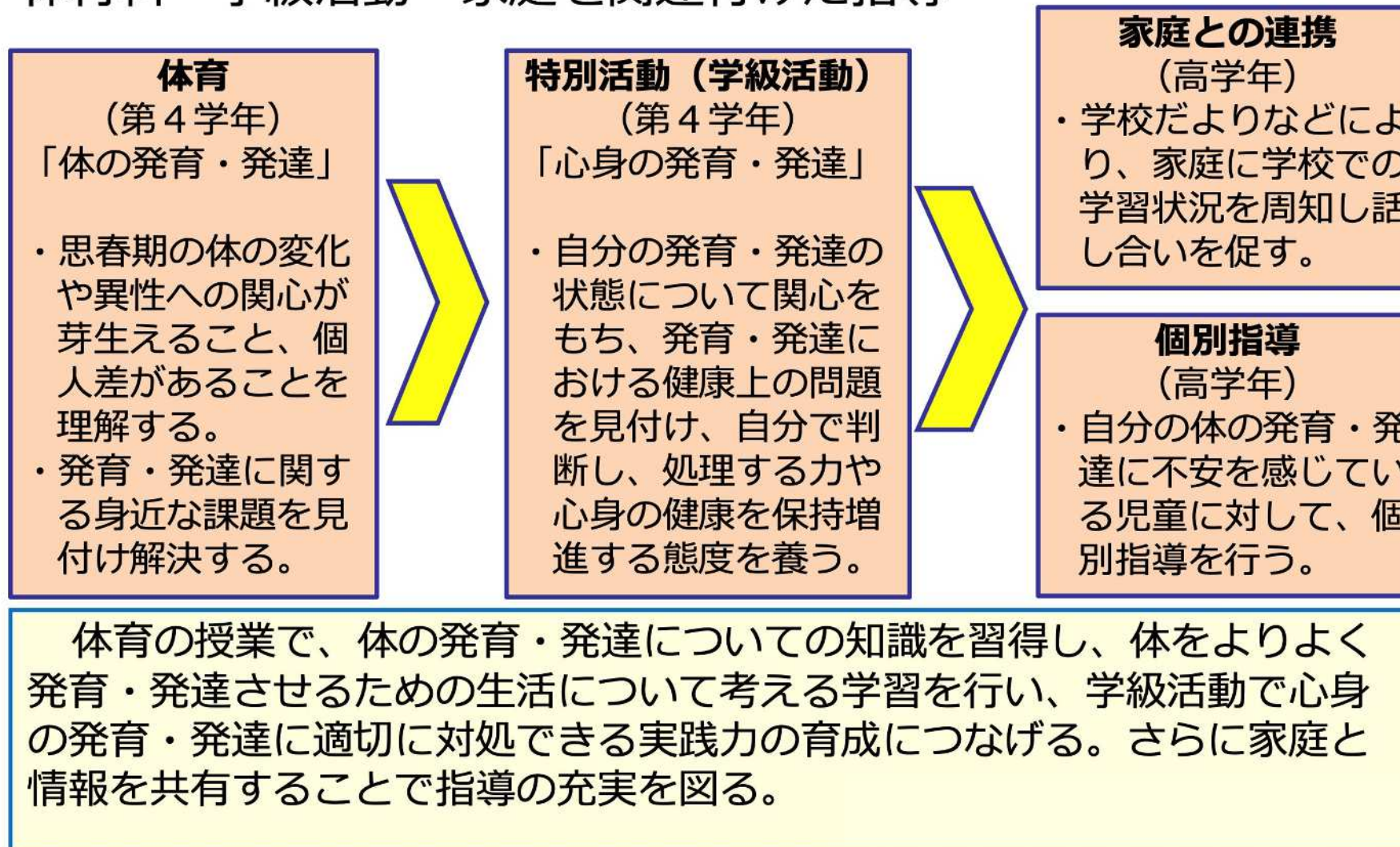


図1-5 心身の健康の保持増進に関する教育のイメージ（中教審答申より）

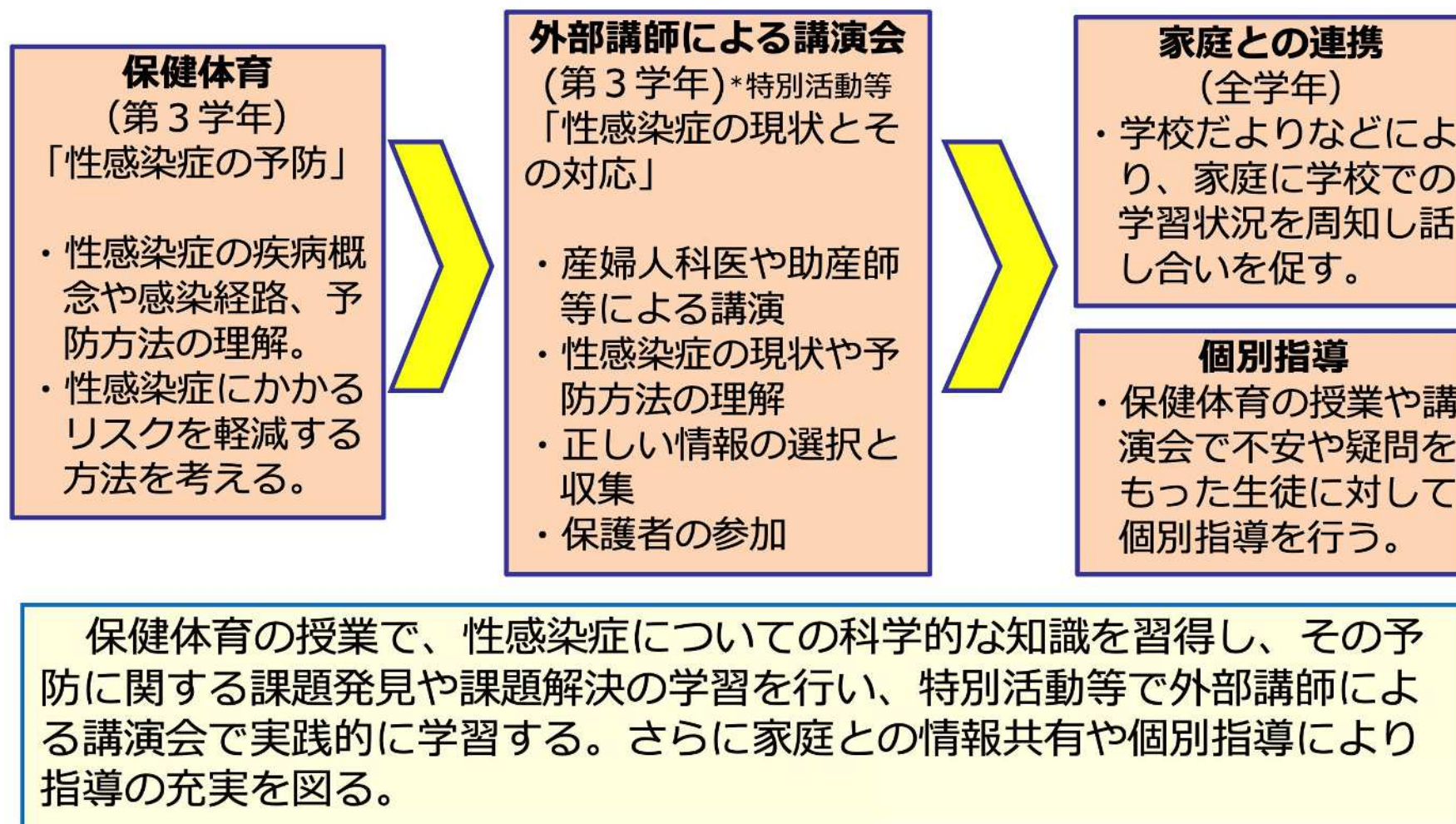
小学校の性に関する指導例

体育科・学級活動・家庭を関連付けた指導



中学校の性に関する指導例

保健体育科・講演会・家庭・個別指導を関連付けた指導





1 がん教育の進め方の基本方針

外部講師を活用したがん教育の進め方の基本方針

① 講師の専門性やこれまでの経験が十分に生かされるよう工夫する。

地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医(「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン、がん診療連携拠点病院等の活用を考慮)、がん患者やがん経験者等など、それぞれの専門性が十分生かせるような指導の工夫を行い、**教員と十分な連携のもと**外部講師を活用したがん教育を実施する。

② 学校教育活動全体で健康教育の一環として行う。

保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって健康教育の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携する。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。なお、効果的な指導を行うためには、**学校保健計画に位置付けるなどして計画的に実施することが望ましい。**

③ 発達段階を踏まえた指導を行う。

小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。その際、各校種のねらいを踏まえ、**発達段階を考慮し**、外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫を行う。

◆想定される外部講師

医師、歯科医、薬剤師、保健師、保健機関の職員、疾病の経験者など

◆活用の場面

各教科等の指導、教育課程外（PTA主催等）で行う講演会など

【各教科等の指導において活用する場合】

○指導形態

指導形態によって、指導の内容や方法を検討する。
（学校全体、学年単位、学級単位など）

○指導内容

各校種の学習指導要領を踏まえて、指導内容を決定する。
（外部講師が指導する場合でも責任の所在は学校にある。）

○留意点

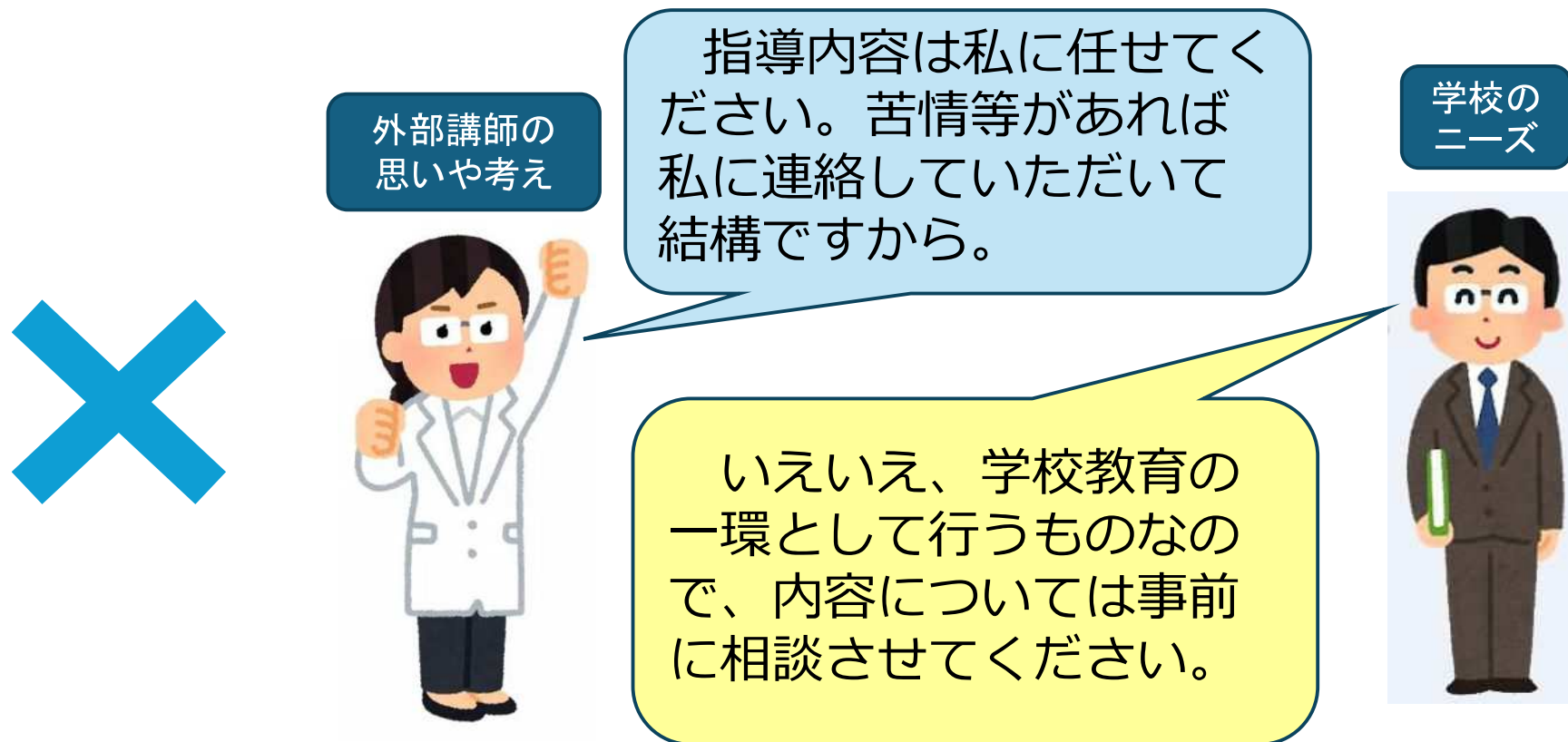
- ・ 教師と外部講師は事前事後で打合せを行う。
- ・ 授業を企画する教師が主体となり指導計画を作成する。
- ・ 講演会などを開催する際、全教職員の共通理解のもと実施する。
- ・ 必要に応じて、保護者に事前に周知したり、参加を促したりする。

準備段階の手順（例）

	企画	打合せ	準備
学校内	保健主事、授業を担当する教諭、学級担任等を中心に核となる教員を決め、関係教職員と連携しつつ、外部講師を活用した授業を企画する。 ・どんなテーマで ・いつ ・だれを講師に	外部講師を活用した授業の実施に向けて、教職員の共通理解を図り、実施内容等について話し合う。 また、教科書やパンフレットなどの資料を準備し、外部講師を活用した授業の講師予定者との打合せに備える。	当日児童生徒に配布する資料や使用する視聴覚機材を準備する。 必要な場合には事前学習・事前指導等を行う。
関係者との調整	外部講師を活用した授業の企画に合わせて、関係機関に講師の派遣を依頼する。 ・事前打診 ・正式依頼状送付 ・打合せ日程調整	外部講師を活用した授業の講師予定者と当日の指導内容や指導方法について打合せを行う。 ・詳細な日程 ・講師と学校の役割分担 ・準備品等 ・指導上の留意事項の確認	資料や視聴覚機材についての最終確認を行う。 講師と教員との役割分担についても確認する。

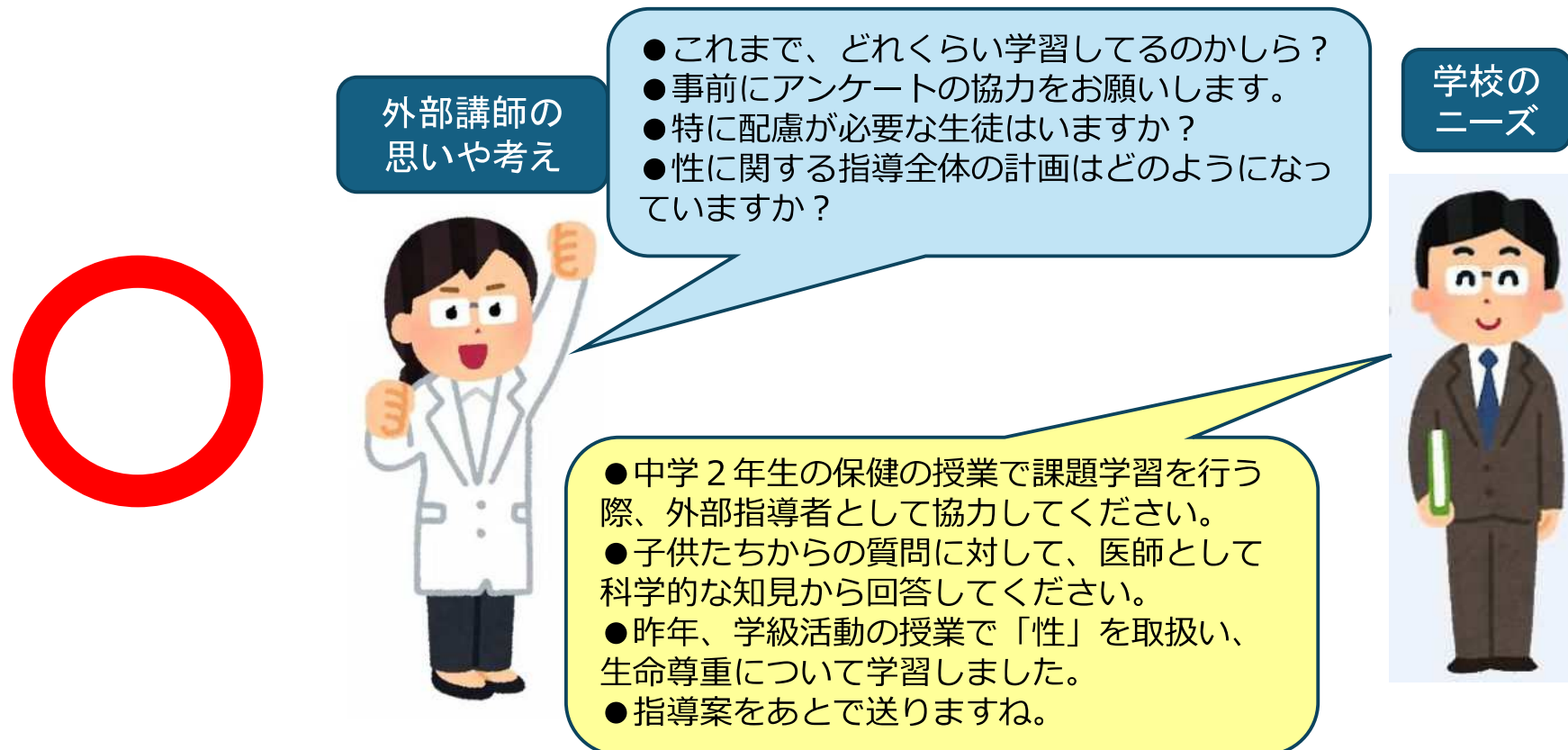
事前の共通理解

◆学習指導要領の趣旨や授業のねらい、性に関する指導の計画や児童生徒の状況を踏まえた指導を行っていただくよう、共通理解を図ることが重要です。



事前の共通理解

◆学習指導要領の趣旨や授業のねらい、性に関する指導の計画や児童生徒の状況を踏まえた指導を行っていただくよう、共通理解を図ることが重要です。



実施段階の手順（例）

	外部講師を活用した授業	事後指導	評価まとめ
学校内	本時における授業の目的・ねらの説明、講師の紹介等を行う。 外部講師を活用した授業を実施する。	学校の実情に応じて、各教科等の学習内容と関連付けた指導を行う。 児童生徒と外部講師との質疑応答の機会を設けるとともに、振り返りの時間を確保する。	成果や課題について担当で話し合い、次年度の外部講師を活用した授業に生かす。 また、この結果は全ての教職員で共有する。
外部講師との調整	講師との最終確認を行い、授業を実施する。	外部講師に授業実施後の感想などを尋ねるとともに児童生徒からの質問や感想などを提供し、指導上の課題や児童生徒の実施後の指導などについて話し合う。	講師及び講師の所属先に礼状を出す。

外部講師との連携

⇒ 講話を聴くだけでなく
質問などをして考えを深める

04 外部講師に質問をする。
①前時で考えてきた、現代の感染症についての質問をする。

室内でのマスクの着用効果の検討

常に室内ではマスクを付けていた人は
マスクを付けなかった人に比べて
新型コロナウイルス検査陽性になりにくかった

WEARING A MASK LOWERED THE ODDS OF TESTING POSITIVE
(odds ratio for laboratory-confirmed cases)

マスクの種類	効果率 (%)
布マスク	56%
サージカルマスク	66%
N95マスク	82%

マスク装着時間

- 全く付けない
- ↓
- ときどき付ける
- ↓
- ほとんどの時間付ける
- ↓
- ずっと付けている

Anderson RL, Fry JM, Myers JF, et al. Effectiveness of Face Mask or Respirator Use in Indoor Public Settings for Prevention of SARS-CoV-2 Infection — California, February–December 2021. MMWR Morb Mortal Wkly Rep 2022;71:212–216. DOI: <https://doi.org/10.15585/mmwr.mm7109a1>

高等学校第1学年

【内容】
現代社会と健康
イ 現代の感染症とその予防

【授業者】
大分県立大分雄城台高等学校
釘宮 多加也

国立感染症研究所 感染症疫学センター
森野 紗衣子

収録日 令和五年二月二十四日



家庭や関係機関等との連携

◆学校において性に関する指導を進める際、家庭や関係機関等と連携・協力して進めることでより効果的な指導につなげる。

【家庭との連携の例】

- 「学校だより」「保健だより」などにより、学校から家庭に向けて、性に関する指導の内容を発信し共通理解を図る。
- 授業参観の時間に性に関する指導の内容を取り扱い、子供の姿を見るとともに、学習内容や学習方法について理解を得る。
- 保護者向けの講演会や研修会を開催し、子供たちの性に関する環境等について現状や課題を把握する。

【関係機関等との連携の例】

- 関係機関等と定期的に情報交換などを行うことにより、地域の実態に即した指導を行う。
- 関係機関等の職員に、外部講師として学校教育への参画を要請する。
- 学校だけでは解決が困難な事案に対する相談体制を構築する。

本日のゴール

学習指導要領に基づく 性に関する指導の考え方と進め方を知り、 自校での取組について考えよう

考えたことをメモしておきましょう